

海洋教育に関する取組の紹介

ニッポン学びの海プラットフォーム会合（第2回）

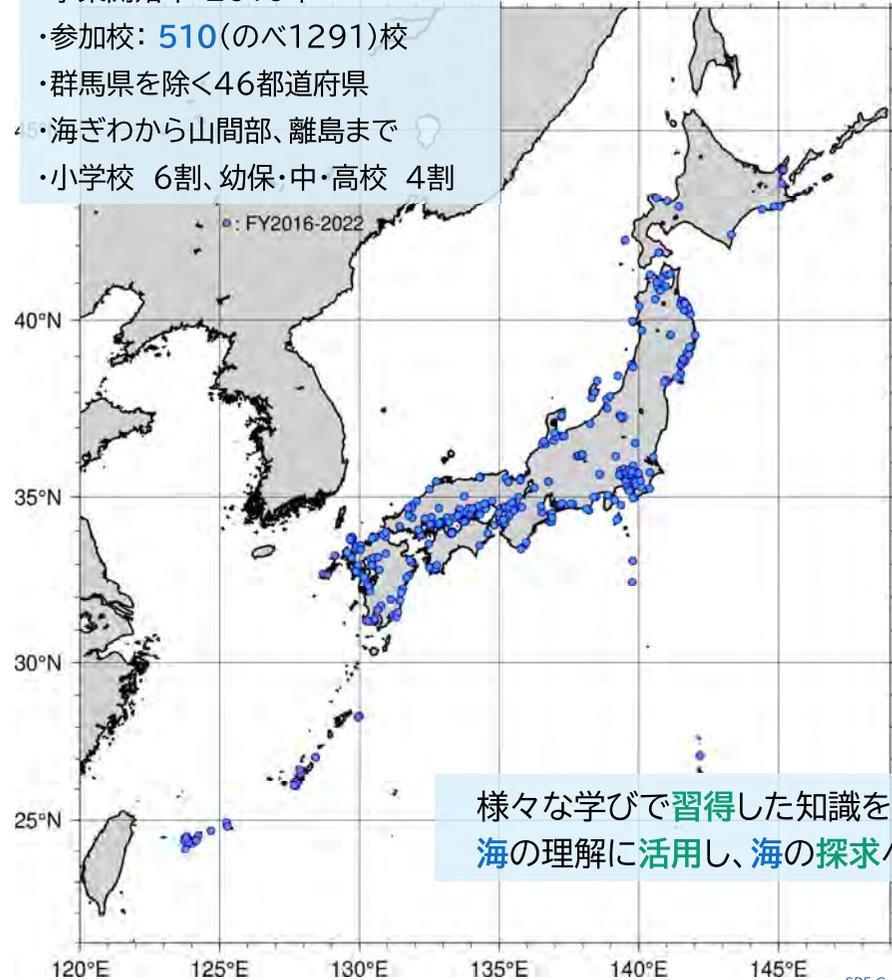
2023年7月13日

笹川平和財団 海洋政策研究所

海洋教育パイオニアスクールプログラム(PSP)

2025年までに全ての市町村で海洋教育の実践を目指し、「海洋と人類の共生」の公教育化を見据えた学校支援プログラム

- ・事業開始年:2016年～
- ・参加校: 510(のべ1291)校
- ・群馬県を除く46都道府県
- ・海ぎわから山間部、離島まで
- ・小学校 6割、幼保・中・高校 4割



様々な学びで習得した知識を、
海の理解に活用し、海の探求へ

2023年7月時点 1,747市区町村中 PSP参加は220区・市町村
(1,724市町村、23特別区)

地域展開

7地域(羅臼町・洋野町・鶴岡市・気仙沼市・君津市・阪南市・与論町)

・海洋教育の「特例校」4地域で19校

(旧地域展開含むと28校、全国では33校)

- ・地域特性に沿った実践を収録した副読本の作成、配布、授業での活用
- ・Ocean Literacyをベースとした地域版海洋リテラシーの導入



単元開発

- ・学校独自の海洋教育カリキュラムの作成
- ・異なる地域の学校間、異校種間の連携

知識・技能

思考力・判断力・表現力

学びに向かう力、人間性等

どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか

教科・分野横断の幅広い取組み

- 自然環境(海・山・森・川との繋がり、生物)
- 水産、観光、造船、港湾
- 海岸清掃、海洋プラスチック
- 防災(津波・高潮)、安全(水難事故防止)
- 地域の海に係る文化(祭り・郷土料理等)
- 地球温暖化、海洋酸性化、ブルーカーボン
- SDGs・ESD、世界遺産



地域住民・NPO・研究機関・大学・官庁関係機関の協力連携が重要

第4期海洋基本計画期間における取組(予定)

(6)海洋人材の育成・確保と国民の理解の増進

青： 第4期海洋基本計画に対応

緑： 第1回会合を踏まえた対応

PSP : PSP事業

- ・2023年度重点テーマ **PSP**
 - 「身近な人や地域、社会へのアクションにつながる海洋教育」
 - 「デジタル技術を活用して、学びを広げ深める海洋教育」
- コンテンツ(指導内容)の検討だけでなく、海洋教育によってどんな社会を実現すべきかを視野に入れた取組み
- ・教材開発 デジタル・印刷物

イ 子どもや若者に対する海洋に関する教育の推進

(前略)教える側の海洋に関する学習の機会を増やすことで、海洋リテラシー向上を図っていく。

- ・地域展開部門で教員研修を必須条件に **PSP**
- ・「海洋教育研究会」「サンセットトーク」「全国海の学び発表交流会」の開催
教員および児童・生徒の情報共有、意見交換の場
教員の地域間、および他業種(社会教育施設、研究者等)との情報交換・連携の機会提供

先生方の負担軽減の一助として、各コンテンツがどの学年のどの教科、単元に関連しているのかを示す

- ・ウェブサイト内で省庁等の海洋教育コンテンツを案内 **PSP(予定)**
お役立ち情報としての紹介、ニュースやメールグループでの告知など
- ・授業実践プラン
現状の学習指導要領との連関、学習内容の応用

教育現場をサポート

→ より多くの子ども達が海洋に目を向ける教育に